

令和元年7月24日

豊田市長 太田 稔彦 様

豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議
会長 野口 眞弓

第3次豊田市子ども総合計画について（答申）

平成30年5月9日付け豊次発第134号で諮問のありました、「第3次豊田市子ども総合計画」の策定について、これまで9回（本会議5回、子どもの貧困対策検討部会4回）にわたる会議を重ね、慎重に審議を行った結果、別添「第3次豊田市子ども総合計画（案）」のとおり答申します。

なお、本計画を推進していく際には、引き続き留意すべき点として、次の2点について意見を申し添えますので、市長におかれましては、第3次子ども総合計画を推進していく際に、適切な対応を要望します。

1 子どもの視点からの施策の展開

子どもを含めたすべての市民が子どもの権利を十分に理解し、子どもの権利が総合的に保障された子どもにやさしいまちづくりを目指すために、子どもの声に耳を傾け、子どもにとって最も良いことは何かを考え、子どもの視点に基づく施策の展開を図ることを求めます。

2 地域と共働・連携による取組

子どもが育つ環境づくりと親育ちへの支援にあたっては、行政による支援だけでなく、地域との共働による支援の推進が重要です。基本理念である「子ども・親・地域が育ち合う 子どもたちの笑顔が輝くまち豊田」の実現に向け、行政、専門機関、地域、企業など多様な主体がそれぞれ連携・共働し、幅広いネットワークが構築され、子どもに必要な支援が届く取組を求めます。

別添

- 1 第3次豊田市子ども総合計画（案）
- 2 豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議議事録